アッラーのしもべに対する権利とは、彼らがアッラーを崇拝し、かれに何ものも並べたりしないことだ。そしてアッラーに対するしもべの権利とは、かれに何も並べて拝したりさえしなければ、罰されはしないことだ

ムアーズ（彼にアッラーの御満悦あれ）はこう伝えている： 「私はウファイルという名の 1 頭のロバに預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）と同乗し、彼の後ろに乗っていた。彼（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：“ムアーズよ、アッラーのしもべに対する権利と、アッラーに対するしもべの権利について知っているか？”私は言った：“アッラーとその使徒がよく御存知です。”彼（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：“アッラーのしもべに対する権利とは、彼らがアッラーを崇拝し、かれに何ものも並べたりしないことだ。そしてアッラーに対するしもべの権利とは、かれに何も並べて拝したりさえしなければ、罰されはしないことだ。”私は言った：“アッラーの使徒よ、人々にこの吉報を伝えましょうか？”彼（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：“伝えないでおくのだ。彼らが頼り切ってしまわないように。”」
[صحيح] [متفق عليه]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、アッラーのしもべに対する権利と、アッラーに対するしもべの権利について語り、アッラーのしもべに対する権利とは、彼らがアッラーを崇拝し、かれに何ものも並べたりしないことであると説明した。 また、アッラーに対するしもべの権利とは、かれに何も並べて拝しないタウヒードの徒を、かれが罰しないことであると説明した。 その後、ムアーズは言った：「アッラーの使徒よ、人々がこの素晴らしいことに喜ぶよう、この吉報を彼らに伝えましょうか？」 しかし預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、彼らがそのことに頼り切ってしまうことを恐れ、それをムアーズに許さなかった。

http://sunnah.global/hadeeth/ja/show/65007